

IV これまでの研究成果と今後の課題

筑波大学水理実験センターでは、前述した大型実験水路および熱収支・水収支観測圃場等の主要施設を駆使して、地表面における水・熱・土砂礫を含む物質循環のプロセスに関する研究をこの15年間精力的に行ってきた。以下は、関連する学系のこの分野での研究を含んだこれまでの研究成果と今後の課題について現旧職員を含むセンターの利用者の主な方々に執筆をお願いしたものである。

